

令和7年度 地域振興推進費事業総括表

地域振興局	整理番号	事業名	事業概要	事業期間
佐久	1	健やか佐久プロジェクト ～知ろう！食べよう！体を動かそう！みんなで健康づくり・フレイル予防～	今後増加が見込まれる高齢者が健康的に長生きするために、高原野菜の産地があること、ポールウォーキング等の産業立地などの佐久地域の特徴を生かして、県民一人ひとりが日常的にスポーツに親しみ、ライフステージに応じた食生活や運動を実践し、県民の健康増進を図る。 ○食育の推進と身体活動・運動習慣の普及のため、関係機関・団体等による連携会議の開催 ○ポールウォーキング体験講座や普及啓発フォーラム開催等による、健康づくり・フレイル予防に向けた取組 ○食生活の見直しやフレイル予防に関する講座を開催し、健康ボランティアを養成	R7.4～ R8.3
	2	佐久平プレメディカルケア産業創出事業	健康長寿の先進地としての地域特性を活かし、病気の予防、早期発見・治療、健康増進等に関わるプレメディカルケア産業の創出を実現するため、地域の企業と医療機関・介護福祉施設が連携して、ものづくりとサービスが一体となった新たなビジネスモデルとなる製品開発を行う。 ○地元企業と医療機関等の連携による新たな製品の試作開発と販路開拓支援 ○「国際福祉機器展」における試作開発品の展示ブース出展、市場調査	R7.4～ R8.3
	3	ゼロカーボンライフスタイル普及事業	気候変動に向けた佐久地域の先進的な取り組みを一般県民が知り、環境に配慮した生活を体験する機会を設けることにより、ゼロカーボンなライフスタイルの普及を図る。 ○気候変動全般と対策、竹林の状況や影響等について講演会や体験会を実施	R7.11～ R8.1
	4	佐久地域農畜産物地消地産推進事業	佐久地域の宿泊施設における佐久地域産農畜産物の利用拡大をはかるため、関係機関と連携し、地消地産の地域内流通体制を確立し、意識的に佐久地域産農畜産物を使用する宿泊施設の増加を目指す。 ○市場関係者との地消地産流通体制の確立打合せ、モデル地域の設定 ○宿泊施設に対し、佐久地域産プルーンを提供し、メニューへの利用を促進 ○佐久地域産の農産物の魅力を発信するための勉強会を開催 ○直売所リストを利用した消費者への情報提供や、出荷者への出荷誘導の事例紹介等を行う直売所研修会の開催	R7.5～ R8.3
	5	生食プルーンの美味しさを佐久地域から発信！	生食プルーンの認知度向上を図るとともに、県オリジナル品種「オータムキュート」の生産振興を図る。 ○生食プルーンを活用したメニューを楽しんでもらうスタンプラリーの開催 ○生食プルーン認知度向上の促進のため、広告物の作成、SNS発信	R7.4～ R8.3
	6	狩猟者育成のための狩猟体験・魅力発信事業	狩猟者の増加を図り、加害鳥獣捕獲の担い手の確保と地域への定着を促進する。 ○若年層の農業・林業従事者や移住者を主な対象とし、有害鳥獣の捕獲体験や、解体の見学・体験する研修会を開催	R7.6～ R8.3
	7	佐久地域観光振興事業	多様な観光資源を有する佐久地域であるが、従来の誘客では観光客の増加が難しい状況の中、様々な分野の方と意見交換しながら佐久地域の観光振興の推進を図る。 ○ブランド化、観光DX化、DMOの設立など、目指すべき佐久地域観光振興に向けて連携していくためのワークショップの開催	R7.6～ R8.1

地域振興局	整理番号	事業名	事業概要	事業期間
佐久	8	東信州特産品PR事業	東信州エリアで連携し、酒類(日本酒・ワイン・クラフトビール等)や特産品の魅力発信・販路拡大とともに、日本酒・ワインツーリズムを軸とした広域観光の促進を図る。 ○しなの鉄道「ろくもん」を活用した貸切列車で特産品をPR ○多くの観光客が訪れる管内ショッピングセンター等における特産品や観光PRブースの出展 ○「若者が最初に飲むべき日本酒」を令和8年度に開発することを目標とし、大学生(ShinXia)と酒蔵を集めた意見交換会等を開催	R7.5～ R8.3
	9	佐久地域の移住スタイル発信事業	佐久地域での働き方や移住者と子育てに関わる支援策等を発信することで、移住促進及びつながり人口の増加を図る。 ○地域の特色を活かした首都圏での移住相談会の実施 ○佐久地域の特色を紹介する移住ガイドブックの増刷	R7.6～ R8.3
	10	若者向け佐久地域企業PRブックの作成	地元企業のPRブックを作成し、就職前の学生に配布することで、地元での就職を意識してもらうことにより、就職による人口流出を減少させる。 ○地元企業で働く女性のインタビューや、就職活動において女性が重視するポイントを満たす地元企業をまとめて紹介するPRブックを作成し、旧成人式など、域外へ出た学生が地元に来る機会をとらえて配布	R7.5～ R8.3
	11	佐久っとサイクルプロジェクト	長野県一周ルートを推進する「Japan Alps Cyclingプロジェクト」に連動して、佐久地域にサイクルツーリズムを定着させるため、佐久地域の魅力を盛り込んだ推奨ルートの作成と利活用により、サイクルツーリズムの推進を図る。 ○令和3、4年度に佐久地域産カラマツ材を使用し設置したサイクルラックのうち、損傷の激しいラックをメンテナンス	R7.12～ R8.3
上田	1	上田地域広域観光推進事業	上小地域観光戦略会議を軸とした地域を巻き込んだ観光振興 1 個別課題解決事業 ・地域の食材を活かした観光地域づくりの推進(食の生産者ツアー、異業種交流会の実施) ・サイクルツーリズムの機運醸成及びサイクリスト誘客(先進地視察、サイクルイベント等の実施) 2 道の駅連携促進事業 ・道の駅周遊イベントの実施 3 観光誘客促進事業 ・観光キャンペーンの実施・参加 ・インバウンドの促進(データ分析、商談会・エクスカージョン等の実施)	R7.4～ R8.3
	2	信州まつもと空港利用振興事業(レンタカー利用促進事業)	松本空港を利用して来県する旅行者(レンタカー利用者)に対し、「レンタカーDeぐるっ得パス」を配布(電子版も提供)することにより周遊観光を促進するとともに、利用者データの収集も行う。(上田地域の掲載店舗等に応じた費用を負担。)	R7.4～ R8.3
	3	にぎやかな森プロジェクト	持続的な森林経営に向けて上田地域の森林の付加価値を高めるため、調査研究・評価により東信カラマツや森林に係るデータの見える化を図り、その成果を地域林業経営者等へ普及啓発する。	R7.4～ R8.3
	4	伝統的工芸品の価値・魅力の情報発信による販路拡大事業	上田地域の伝統的工芸品の価値・魅力を広く一般の方に伝え、関心をもってもらいたくファンを増やすことを目標に、イベントでの展示・製作体験、住宅展示場のモデルハウスや飲食店等での展示による提案、大学生と連携したワークショップを行い、販路拡大につなげる。	R7.4～ R8.3
	5	上田地域の短期大学の連携による地域で活躍する人材定着促進事業	上田短期大学と連携して、上小地域の中学生を対象としたキャンパスツアー開催等により4年制大学にはない両校の魅力発信し、地域産業を支える人材の育成に繋げる。	R7.4～ R7.12

地域振興局	整理番号	事業名	事業概要	事業期間
上田	6	上田地域ワイン振興事業	ワインを機軸とした観光誘客を推進 1 ワイン・ツーリズムサポート人材の育成講座を開講。 2 遊休不動産を活用したワイン・ツーリズムの拠点施設の開設を支援。	R7.4～ R8.3
	7	ワイン用ぶどう生産支援事業	ワイン産地づくりに向け、その基盤となる面積拡大が図られたワイン用ブドウの品質向上及び収穫量アップにつながる栽培技術の支援を継続的に実施する。	廃止
	8	移住者や関係人口等の増加と空き家利活用促進に向けた情報発信事業	地域の空き家利活用事例やノウハウその他地域情報等を軸とした情報発信を行い、移住者や関係人口増加につなげ、地域の維持や活性化を地域住民が一丸となり取り組む機運を醸成するきっかけをつくる。	R7.7～ R8.2
	9	人と動物との共生社会の構築事業	人と動物の問題について、情報発信し、関係機関との連携構築と地域住民の意識の醸成を図る。	R7.4～ R8.3
諏訪	1	コミュニティ放送を活用した地域情報の発信事業	諏訪管内の現地機関等の施策・取組等の情報や県政についての身近な情報について周知するため、コミュニティ放送を利用してタイムリーに発信する。	R7.5～ R8.3
	2	信州まつもと空港利用振興事業	信州まつもと空港利用者の増加に向けた事業(空港利用促進PR事業)や、空港を起点とした観光振興、賑わい創出を図るための事業(レンタカー利用促進事業)を実施し、空港及び地域のさらなる活性化や魅力発信を推進する。	R7.4～ R8.3
	3	幹線バスの利用促進及び利用状況調査	県が主体的に関わることとされた幹線バスの品質保証と利用促進に向け、啓発物品の配布と併せ、現状とニーズを把握するため、利用者及び沿線付近の病院・高校等への通院・通学者に対するアンケート調査を実施する。	R7.4～ R7.9
	4	諏訪湖の水辺アクティビティ推進事業	諏訪湖創生ビジョンの目指す姿の一つ“湖上や流入河川では、ヨットやボート、カヌー、カヤックなどを楽しみ、湖畔の砂浜では泳いでいる人々の姿がある”の実現のため、地域住民の親水意識醸成に資するイベントを開催するとともに地域住民の意見を踏まえた効果的かつ継続可能な取組の検証を行い、諏訪湖での新たな水辺アクティビティの可能性を探る。	R7.4～ R7.9
	5	自然保護体験モニターツアー	自然環境保全活動の関わり手不足解消を目指し、保全活動をコンテンツとして捉えてもらうためのニーズや課題を探るためモニターツアーを実施し、参加者に評価してもらい可能性を探る。	R7.4～ R8.2
	6	ソーシャルメディアを活用した諏訪地域観光PR事業	インバウンド需要獲得のため、地域の魅力を効果的にPRできるインフルエンサーを介し、特に観光需要が少ない冬季に誘客を促進するPRを行う。 具体的には、24-25シーズンに撮影した冬季モデルコースの動画を25-26シーズン前からソーシャルメディアで配信する。	R7.6～ R8.3
	7	諏訪湖スマートインターチェンジ供用開始に伴う広域観光PR	諏訪湖SICの共用開始に伴う移動時間短縮効果を滞在時間の延長、観光地消費額の向上につなげるため、地域の周遊観光や諏訪湖周の楽しみ方等をPRするイベントの開催、パンフレットの改定を行う。	R7.4～ R8.3
	8	滞在型観光促進PR事業	滞在型観光の促進と観光地消費額の向上のため、温泉や歴史をテーマに宿泊を伴う来訪意欲を喚起する観光PRをセミナー形式(「諏訪旅のしおり」を作成)で行うとともに、滞在・周遊に対するニーズ分析を行う。	R7.5～ R8.3

地域振興局	整理番号	事業名	事業概要	事業期間
諏訪	9	諏訪湖結氷時安全対策推進事業	諏訪湖結氷時の注意喚起と、御神渡りへの期待と関心を高めるため、ライブカメラを設置し、諏訪湖の状況をライブ配信する。あわせて、結氷時の注意喚起看板について、外国人観光客の増加などの社会環境の変化をふまえた記載内容に見直す。	R7.11～ R8.3
	10	ものづくり地域としてのエコシステム構築推進事業	地域企業の付加価値労働生産性向上及び次世代人材の育成を図るため、省力化・効率化等に取り組む事業所(ベンチマーク企業)におけるフィールドワークや、他社の事例・効果等に学び、自社へ展開する勉強会を開催する。	R7.5～ R8.3
	11	ハヶ岳西麓ワイン等の認知度向上事業	ハヶ岳ワインバレーの認知度向上と、諏訪地域で栽培されているぶどうを原料にしているワインの品質を地域住民に知っていただく機会を提供するため、実需者と一般消費者を対象にした2部構成でのワインフェスを開催する。	R7.8～ R8.2
	12	農産物直売所誘客促進事業	諏訪産農産物の認知度向上、消費拡大と農産物直売所の活性化を図るため、既存の「直売所マップ」について、農産物直売所や取り扱い農産物の内容を改訂し、管内のホテル・旅館、高速道路SAなどで配架・配布する。	R7.6～ R7.12
	13	浮漁礁設置に係る生物調査	令和5年度に県民参加型予算で設置した人工浮漁礁について、魚介類の生息状況を確認するため、毎月1回(5月～11月)、投網及びエビかごによる漁を行い、生息している魚種・数量を調査する。	R7.5～ R7.11
	14	諏訪湖魚食性鳥類対策推進事業	令和6年度に開催した漁業振興ワーキンググループにおいて、漁業者、観光業者からカワウなど魚食性鳥類の対策が強く求められたことから、漁業関係者、行政等の関係機関に加え、野鳥の会などを含めてワーキンググループにおいて対応策の検討を進めるとともに、カワウ忌避バンドの敷設を試行的に実施し、追い払い効果を検証する。	R7.7～ R8.2
	15	ヒシ除去量増加に向けた新たな仕組みの構築事業	総合5か年計画及び諏訪湖創生ビジョン(改定版)に位置付けられているヒシ除去量の増加に向けた新たな仕組みをつくるため、簡便かつ費用のかからない方法によるヒシ除去を試行的に実施し、効果を検証する。	R7.8～ R8.1
16	持続可能な医療提供体制構築事業	今後の人口減少時代を見据え、諏訪地域における持続可能な医療体制の構築に向け、病院の枠を超えた医療提供のあり方や役割分担、連携等について考えるセミナーを開催する。	R7.11～ R8.2	
上伊那	1	地域の先端技術を学ぶ林業体験学習	林業への就職希望者の増加を図るため、高校生を対象に高性能林業機械の実機の見学や林業機械の操作体験等の研修会を開催する。	R7.6～ R8.1
	2	建設産業の魅力を実感プロジェクト事業～高校生が行う身近な公共施設整備体験～	建設産業の担い手確保につなげるため、建設系学科の高校生を対象とした実地体験会を開催し、魅力ややりがいを体験できる機会を提供する。	R7.4～ R8.3
	3	クール伊那谷クリエイティブ産業プロジェクト	成長産業と言われるアニメ産業の地方展開を上伊那に呼び込むため、パネルディスカッションを開催し、立地や起業の可能性等について検討する。	廃止
	4	理系女性の増加に向けた中高生への情報発信事業	地域で活躍する理系女性の増加を目指し、中・高校生等へ理系分野で活躍する女性の姿を発信し、興味・関心を持つきっかけづくりとする。	R7.5～ R8.3

地域振興局	整理番号	事業名	事業概要	事業期間
上伊那	5	はな(花)高々い～な(伊那)～上伊那の花 認知度向上プロジェクト(通称:花プロ)～	県内有数の「花の大産地 上伊那」の認知度を高め、「花」の需要喚起や生産振興を通じて ①地域における「花」の日常化 ②「花」の関連産業の拡大に向けた情報発信と、多様な人材が「花」で活躍できる地域づくり ③女性や若者に選ばれる魅力ある産地づくりを進める。	R7.4～ R8.3
	6	農業水利資産の郷土学習事業	西天竜幹線水路の受益地内の小学校及び三峰川流域の小学校を対象に「農業用水探検隊」を開催し、現場見学や学習教材による説明を通して、地域の農業とそれを支える農業水利施設の維持管理の大切さについて理解促進を図る。	R7.9～ R8.3
	7	上伊那の地域材利活用の促進	地域材を活用している事業者を取材・紹介し、ウェブサイト「きとくらす上伊那」の記事を充実することで、地域材の魅力を発信する。	R7.5～ R8.2
	8	地元酒米を使った地酒・信州そばPR事業	地元の棚田で収穫された酒米を使った日本酒及びそばを使った焼酎のイベントでのPR	R7.6～ R7.10
	9	スマート農業×田んぼダム実証実験事業	「水田を活用した雨水貯留の取組」の推進に向けて、試験ほ場を設置し、効果検証、成果や課題の整理を行うとともに、普及に向けて市町村や土地改良区、農業者等への理解醸成を図る。	R7.4～ R8.3
	10	多文化共生防災促進事業	災害多言語支援センターの役割や運営方法について学ぶ「多文化共生防災セミナー【準備編】」を開催する。	R7.5～ R8.2
	11	みすずハイウェイバス利用促進事業	みすずハイウェイバス利用促進のため、運賃の補助を実施する。	R7.6～ R8.3
	12	農業資産・農村環境学習事業	飯島町の小学生を対象とした農業資産に関する「勉強会」を開催し、地域のお米づくりを中心とした農業の大切さや農業資産の歴史、自然環境について学習する機会を提供する。	R7.12～ R8.2
	13	中央アルプスの雪と高遠の桜等を活用したファムトリップ実施事業	インバウンドをはじめとした観光客誘客のため、中央アルプスの雪と高遠の桜等を活用したファムトリップの実施に向けたコンテンツの磨き上げ及びファムトリップツアーの造成、招致有識者の募集を行う。	R7.5～ R8.3
	14	上伊那観光PR事業	中京圏等で上伊那の観光PRを実施し、上伊那地域への誘客を促進する。	R7.7～ R8.3
	15	女性・若者を対象にプロスポーツ等活用した地域の魅力発信	プロスポーツ等を活用した地域の魅力発信により交流の促進を図る。	R7.5～ R8.3
	16	豊かな自然と農産物を活用した関係人口の創出事業	豊かな自然の中で栽培された環境配慮のコメや希少種のチョウ等を地域の魅力として情報発信し、将来の関係人口の創出を目指す。	R7.5～ R8.3
	17	「上伊那ゼロカーボンプラットフォーム」イベント	上伊那地域におけるゼロカーボンの実現に向け、「上伊那ゼロカーボンプラットフォーム」の4者が協働し、講演や参加者による情報交換を行うイベントを開催する。	廃止
18	上伊那地域の農業資産魅力発信事業	棚田やため池のパンフレットの配布等により、情報発信の促進を図る。	R7.12～ R8.2	
南信州	1	南海トラフ地震など大規模災害に備えた地域防災力向上事業	市町村と連携した地方部防災訓練と市町村への防災研修会の実施	R7.7～ R7.12

地域振興局	整理番号	事業名	事業概要	事業期間
南信州	2	若者から選ばれるための職場・地域づくり研修会	若者・女性から選ばれる講演会「南信州になるために(仮称)」の開催	R8.1～ R8.3
	3	南信州とのつながり創出事業	南信州の魅力在市町村及び広域連合と連携して、効果的に発信し、当地域のつながり人口や移住者の獲得を目指していく。	R7.4～ R8.3
	4	南信州民俗芸能継承推進事業	南信州民俗芸能に関する情報発信や南信州民族芸能パートナー企業による新たな支援の発掘を図る。	R7.4～ R8.3
	5	三遠南信地域マラソン大会スタンプラリー事業	長野、愛知、静岡の県境を越えた交流事業として三遠南信地域マラソン大会スタンプラリーを実施する。	R7.7～ R8.3
	6	リニア中央新幹線開業を見据えたまちづくり講演会	リニア中央新幹線開業を見据えたまちづくりに向け機運醸成を図るための講演会を実施する。	廃止
	7	環境産業見本市事業	南信州環境メッセに併せ、管内地域企業が持つ環境や社会に配慮した商品の展示会及び商談会を開催する。	R7.4～ R8.1
	8	狩猟者の確保・育成支援事業	新規狩猟者の確保及び新規狩猟者の技術向上ため、狩猟(制度や経験等)についての普及を行う。	R7.6～ R8.2
	9	竹取再生促進事業	放置竹林の整備手法や地域内の実践例について動画を製作し、配信を行う。	R8.1～ R8.3
	10	ウッドチェンジの普及推進	地域内でのウッドチェンジの普及を図るため、暮らしの中の木製品市を開催する。	R7.9～ R7.12
	11	東海・中京圏における「南信州」観光プロモーションの実施	リニア中央新幹線開業や三遠南信自動車道開通を見据え、東海・中京圏に向けて、イベント等で南信州地域のPRを実施する。	R7.5～ R7.8
	12	インバウンド向け伝統的工芸品PR事業	インバウンド向けに南信州の伝統的工芸品のPRを実施する。	R7.4～ R8.3
	13	オールインクルーシブ型の里山観光旅行の商品化に向けた検討	南信州地域の自然や文化等の観光資源を活用した体験型観光商品化に向けた取組を行う。	R7.4～ R8.1
	14	JR東海等と連携した南信州地域への誘客促進	JR東海等と連携し、東海・中京圏に向け南信州地域の認知度向上と観光PRを実施する。	R7.4～ R8.3
	15	南信州の特性を活かしたウェルビーイングに関する情報発信事業	R6年度実施のモニターツアー(R5年度県民参加型予算で実施した南信州メディカルバレー推進プロジェクトを組み込んだツアー)について、首都圏に向けて発信する。	R7.7～ R8.3
	16	南信州シードル振興事業	「南信州シードル」のPRのため、南信州と弘前市のシードル関係者による共同イベントの開催支援と首都圏でのPRを実施する。	R7.4～ R8.3
	17	～日本なし産地再生プロジェクト活動～ 「日本なしを使用した菓子等商品化プロジェクト」の取組	日本なしを活用したお菓子やスイーツなどで新たな商品化を図り、加工商品を通じて日本なしの魅力を消費者に発信し地域で共有する。	R7.9～ R7.10

地域振興局	整理番号	事業名	事業概要	事業期間
南信州	18	地域保健と職域保健の連携による企業等における健康意識の向上と信州ACEプロジェクトの推進	働き盛り世代を対象とした健康づくり、企業における健康意識の向上とともに、ACEプロジェクト(健康づくり県民運動)の一層の推進を図る。	R7.4～ R8.3
	19	日本一コンテンツの普及・発信	R5県民参加型予算で作成した冊子・チラシを増刷・再編集し、地域企業や観光案内所等への配布・設置を通じて“南信州の日本一コンテンツ”の認知度向上と地域内のシビックプライド醸成を図る。	R8.1～ R8.3
	20	南海トラフ地震など大規模災害備えた地域防災力の向上	市町村担当者や保健・栄養職員を対象として、避難所運営の実践的な知識と平時からの備えを学び、関係機関連携を強化する防災実践セミナーを開催する	R8.1～ R8.3
	21	南信州ユニバーサルツーリズム推進事業	ユニバーサルツーリズムの情報共有・地域での発展のため、ユニバーサルツーリズムの実践研修会を実施する。	R8.2
	22	若手職員広報チームによる広報活動先進事例調査	若手職員による広報チームを中心に、先進事例を学びながら親しみやすい情報発信体制を整備する。	R8.3
木曾	1	国定公園化に向けた御嶽山魅力発信及び御嶽山安全対策事業	・御嶽山国定公園化に向けて、周知を図り機運を醸成するためのポスター及びコースターを作成。また「御嶽山山カード」を増刷、木曾地域、中京方面等で配付し、安全登山啓発も含め、機運醸成の一助とする。 ・情報発信・避難対策を学び、御嶽山の安全対策の向上に寄与するため、先進地視察を行う。	R7.8～ R7.10
	2	ふるさとの思い出造成事業	・一町村にスポットを当て(令和7年度は上松町)、子どもたちが地域の特産品を活用した体験(木を使ったボールペンと箸づくり)をすることによりふるさとへの愛着を深めてもらう。	R7.11～ R8.3
	3	木曾地域リニア活用推進事業	・リニア中央新幹線開業に向け、岐阜県駅を視野に入れた県境を跨ぐ観光地域づくりを研究するための「木曾地域リニア活用推進協議会」を開催する。また、その中の部会において研究を進めていく。 ・長野県駅が予定されている伊那谷地域との連携も深める。	R7.6～ R8.3
	4	ふるさと納税確保・関係人口創出事業	・ふるさと納税確保や関係人口創出の先進自治体を視察することで、地域住民が関係人口との交流を深めながら主体的に実践する地域活動を見出したり、ふるさと納税制度をきっかけとした関係人口の創出や関係人口への地域活動・イベント等の効果的な情報発信の方法等を研究し、政策立案につなげる。	R8.2～ R8.3
	5	信州まつもと空港発レンタカー利用促進キャンペーン事業 (松本地域振興局)	・松本空港経由のレンタカー使用者の、空港周辺地域への周遊を促進するため、観光クーポンブックを配布する。 (松本、北アルプス、木曾、諏訪、長野、上田、飛騨地域)	R7.6～ R8.3
	6	木曾地域木材産業振興対策推進事業	・木曾地域の主伐・再造林や木材生産の促進のためアドバイザーによる課題調査、関係者の連携体制の検討や先進地視察を行う。 ・新たな木材需要喚起のため、全国規模で開催される「ウッドコレクション2025」に出展し、木曾産材及び製材品等の啓発活動を展開する。 ・木曾青峰高、林大、上松技専を対象とした現地見学会や交流会を実施し、三校連携を推進する。	R7.6～ R8.3

地域振興局	整理番号	事業名	事業概要	事業期間
木曾	7	社会的起業支援事業	・木曾地域で起業を目指す方を対象に、起業マインドを高めるための研修会を開催する。また、過年度(R1～R6年度)の研修会参加者を対象にフォローアップ講座を開催する。	R7.5～ R7.10
	8	木曾地域広域観光推進事業	町村、木曾広域連合等と連携し、広域観光や効果的な広域観光推進体制等について理解を深める勉強会を開催する	R7.5～ R8.3
	9	木曾地域観光・農産物等魅力発信事業	・局内の課・所、管内町村木曾広域連合及び民間事業者と連携し、中日ビルにおいて、ポスター展示、チラシ配布、地場製品の販売等によりPR。新たに、長野県事務所前のスペースも活用し、民間事業者単独による物販・観光PRも含め7月～1月の間に継続的にイベントを開催。	R7.7～ R8.2
	10	災害時保健医療福祉活動の連携強化事業	・災害時に医療(救助・救急)、福祉(要配慮者支援)、保健(保健衛生・感染症予防)が迅速に提供できるように、町村・広域消防・木曾病院などの関係者を対象に被災者支援に係る研修会を開催する。	R7.10～ R7.12
	11	林業・木材産業の人材確保、ブランディング等推進事業	・上松技術専門校は、県内外から入校があり、また、修了生も県内はもとより、県外でも活躍している。木工・家具作家として活躍する修了生を紹介する冊子を作成し、木工の魅力を伝えるとともに、木曾(上松技専)で学ぶことを呼び掛ける。それにより、「木工といえば上松」、「木を学ぶなら木曾」のアピールへ繋げる。 ・巻末には近い将来、全国募集を行う木曾青峰高校や林業大学の紹介も掲載する。	R7.5～ R8.3
	12	木曾青峰高校森林環境科全国募集推進事業	・専門科(森林環境科)のカリキュラムを充実させ、全国募集を推進するため、木曾地域及び県内の産業や伝統工芸を見学・視察をする。 ・木曾青峰高等学校森林環境科を全国に知ってもらうため東京における広報活動を行うとともに、PRポスターを作成する。	R7.7～ R8.3
	13	人口減少対策推進事業	・人口減少をテーマとした県民の皆様との意見交換会を開催する。 ・今後の更なる人口減少を見据え、情報収集やデジタル技術の徹底活用に向けた研修会を開催する。 ・都市部人材の活躍促進及び移住・定住の促進のため、信州暮らし案内人等による管内視察及び情報収集・意見交換を行う。	R7.7～ R8.3
松本	1	信州まつもと空港利用振興事業	空港利用者の増加に向けた事業や、空港を起点とした観光振興・賑わい創出を図るための事業を実施し、空港及び松本地域のさらなる活性化や魅力発信を推進する。 [事業内容] ・空港発ドライブ観光パスポートの配布による周遊観光振興 ・利用促進PRチラシの配布	R7.4～ R8.3
	2	地元特産品魅力発信事業	信州まつもと空港の定期便就航地において、松本地域の特産品である伝統的工芸品とワインを組み合わせ魅力を発信し、ファンの開拓を図るとともに、空港の利用促進につなげる。 [事業内容] 「RKBカラフルフェス2025」(福岡市)への出展 ・時期: 10/11～12 ・内容: ワイン、伝統的工芸品、福岡便のPR展示等	R7.9～ R7.10
	3	信州まつもと空港開港60周年賑わい創出事業	空港に対する関心を喚起するため、空港見学会やスカイフェスティバル等のイベント時に配布する空港オリジナルグッズを作成・配布し、賑わいを創出し、空港利用者の増加につなげる。 [事業内容] ・空港オリジナルグッズ(鉛筆・定規・自由帳・クリアファイル)を作成し、スカイフェスティバル等のイベントで配布する。	R7.6～ R8.3

地域振興局	整理番号	事業名	事業概要	事業期間
松本	4	大規模災害への対応能力向上事業	能登半島地震や豪雨災害など毎年発生している自然災害に対し、防災対応職員の意識と対応能力向上のための学習会を開催する。 [事業内容] ・災害時対応学習会の開催	R7.11
	5	火山防災意識向上事業	焼岳について、火山マップを作成し、最新の火山活動の様子や避難方法等について登山者や地元学生等へ安全登山のための啓発を図る。また、乗鞍岳の防災マップについて、地元中学生を中心とした学生へ配布する。 [事業内容] ・焼岳火山防災マップの作成(令和元年度作成版の修正) ・乗鞍岳火山防災マップの作成(令和5年度作成版の増刷)	R7.5～ R7.12
	6	デジタルスタンプラリーを活用した地域公共交通利用促進事業	地域公共交通、特に路線バスの利用促進に向けた取組として、路線バスに乗り、松本地域の3市5村を巡るデジタルスタンプラリーを実施することにより、地域公共交通の維持・確保の重要性のPR、併せて松本地域での周遊促進を図る [事業内容] ・公共交通(バス)を利用したデジタルスタンプラリーの実施	R7.8～ R8.2
	7	地域資源を活用した松本広域圏の魅力発信事業	松本地域の広域観光の取組として、管内各市村の地域資源をカード化して情報発信し、地域資源の見直し及び観光誘客を促進する。 [事業内容] ・「水物語カード」の増刷	R7.4～ R8.3
	8	公共施設マネジメント研修事業	事業の実施により、行政のキーパーソンが公共施設運営の課題解決につながる事例や、公共施設のポジティブな活用策などに触れることで、地域の取組の活性化に繋げる。 [事業内容] ・公共施設マネジメント講演会の実施	R7.5～ R7.11
	9	教育従事者等を対象とした環境教育の普及拡大事業	2050ゼロカーボンが達成できるよう、気候変動問題やその対策について教職員等が学習する機会を提供することで、小・中・高校等教育現場や地域での環境教育を推進するリーダーとなる人材を育成する。 [実施内容] ・研修会の開催(座学及びグループワーク) ・社会見学・フィールドワーク(実践事例の情報収集)の実施	R7.5～ R7.11
	10	信州まつもと広域圏まるごと移住支援事業	松本地域の広域的な取組として、管内各市村の魅力や先輩移住者の体験談等を東京圏在住者を中心に紹介することにより、各市村の移住促進につなげていく。 [事業内容] ・移住相談会の開催(東京交通会館) ・移住対策検討会議の開催(年3回) ・移住促進パンフレットの制作	R7.6～ R8.3
	11	風食防止対策のための緑肥作物導入推進事業	松本南西部地域において問題となっている風食を防止する対策として、緑肥作物による冬期間の農地被覆を拡大することは、壤土の飛散防止に加え、野菜生産における化学肥料施用量の削減につながる。優良農地の保全と、農家の肥料費の削減により、産地の維持発展を目指す。 [実施内容] ・地域農業者向け研修会の実施(2回) ・風食防止対策のための緑肥作物導入啓発資料の配布	R7.4～ R8.3

地域振興局	整理番号	事業名	事業概要	事業期間
松本	12	地域の有機農産物等を活用した有機等給食推進事業	地域の有機農産物等を地元の小中学校及び保育園における給食での利用拡大により、食育や有機農業への理科の促進を図るとともに、地域振興の推進、またゆたかな暮らしの定着や移住の促進を図る。 【事業内容】 ・有機農産物等を利用した新たなメニューの開発 ・有機農産物等を利用した給食メニューの試験的な導入 ・有機農業者による有機農産物・有機給食等についての授業 ・管内有機農業者等への視察の実施	R7.4～ R8.1
	13	地域おこし協力隊員確保・活動・定着支援事業	地域おこし協力隊員の活動支援や隊員同士の情報交換や交流の場を設けることで、協力隊員の任期終了後の県内定着率の向上につなげる。 【事業内容】 ・研修会（任期終了後の将来設計等） ・交流会（隊員同士の情報交換等） （3局合同、長野・北アルプス・松本）	R7.9～ R8.2
	14	松本地域観光振興に向けたデータ分析事業	松本広域圏の滞在型周遊観光の実現を目指し、現状と課題の解決に向けたデータ分析を実施し、その結果を関係者間で共有し、次の打ち手の検討材料とすることで、中長期的な観光戦略の策定に繋げる 【事業内容】 ・松本地域に訪れた観光客の動向解析（データ分析） ・松本地域観光戦略会議において、データ分析の取りまとめをプレゼン	R8.1～ R8.3
	15	脱炭素社会に向けた木工製品等普及拡大事業	身の回りの生活用品等を人工素材から木工製品へ転換する「ウッドチェンジ」の啓発を継続して行っていくことで、県産材を使った木工製品等の需要拡大を目指すとともに、2050ゼロカーボンの実現を推進する 【事業内容】 ・県有施設での展示・貸出し、木工製品関連イベントでのウッドチェンジPR	R7.9～ R8.3
北アルプス	1	地域在来品種の特産化推進事業	地域在来品種である農産物（クレソン等）の特産化を推進する。 ・生産拡大支援（簡易栽培法の検討、栽培説明会開催） ・地元への安定供給（検討会の開催等）	R7.5～ R7.12
	2	北アルプス地域農産物海外販路調査事業	コメ、園芸品目等の有利販売に向けた海外販路開拓のための調査等を実施する。 ・台湾における販売動向調査 ・台湾輸出に打合せ	R7.4～ R8.2
	3	広葉樹林業のビジネス化事業	主要な地域材である広葉樹の活用推進のため、新たなビジネスモデルの構築を図る。 ・製材マルシェ等の開催 ・地域材証明の仕組づくり ・モデル製品の開発、PR	R7.4～ R8.3
	4	信州まつもと空港発レンタカー利用促進事業	空港発レンタカー利用者に対し、地域内での周遊、滞在、消費の促進を図る。 ・システム運用費 ※ 松本、上田、諏訪、木曾、長野地域振興局との6局連携事業	R7.4～ R8.3

地域振興局	整理番号	事業名	事業概要	事業期間
北アルプス	5	北アルプスサイクルツーリズム推進事業	サイクリング環境を整え、地域の魅力を広く発信することで、サイクルツーリズムの取組を加速する。 ・サイクルマップの更新 ・Googleマイマップ作成	R7.12～ R8.3
	6	北アルプス北部山域イメージアップ事業	安全登山の留意事項・マナーや山岳写真等を記載したカードを作成し、自然保護レンジャー・登山相談所等により配布し、登山者等の安全確保とマナー向上を図る。 ・「登山安全・マナーカード」の作成・配布	R7.4～ R8.3
	7	北アルプス産日本酒等観光活用魅力発信事業	地域の周遊観光での活用に向け、地元産の日本酒・酒蔵の魅力発信の取組を推進 ・酒造事業者と連携した発信 ・観光関係者と連携した発信	R7.7～ R8.1
	8	北アルプスの麓で暮らし・働く大相談会2025	主に首都圏在住者を対象に、圏域一体として地域の暮らし、仕事、住まい等の情報を提供し、地域の魅力や特色を伝え、移住定住につなげる。 ・市町村との共催による移住相談会の実施	R7.7～ R8.3
	9	北アルプス地域「農ある暮らし」推進事業	地域住民の農ある暮らしをサポートし、情報発信することで、地域に人を呼び込むことを目指す。 ・「農ある暮らしサポート直売所」における栽培技術サポート、移住・観光情報提供 ・農ある暮らし事例紹介動画を活用し情報発信	R7.4～ R8.3
	10	「Kita Alps地域おこし協力隊通信」発行事業	管内の協力隊員の活動状況を把握、情報発信し、円滑な活動と任期終了後の地域への定着を促進する。 ・「Kita Alps地域おこし協力隊通信」を発行	R7.11～ R8.3
	11	地域おこし協力隊等起業塾	地域おこし協力隊の定着率の向上及び女性の起業支援を行い、地域への人材の定着を目指す。 ・県立大学と連携した起業塾の開催 ※長野、北信地域振興局との3局連携事業 ・地域おこし協力隊を対象とした交流会の開催 ※松本、長野地域振興局との3局連携事業	R7.5～ R8.3
	12	県立白馬高等学校魅力発信事業	県内唯一の国際観光科があり全国から生徒を受け入れている白馬高校の特色や魅力を発信し関心を高め、入学者数の増加を目指す。	R7.4～ R8.2
	13	JR大系線利活用促進の取組への支援事業	通院・通学等の日常生活における移動や観光地への円滑な移動の確保を目指し、地域公共交通の維持・発展、サービスの品質保証を図るとともに、北陸新幹線の敦賀延伸を契機に、関西方面からの観光誘客を図ることにより、大系線利用者の増加を図る。	R7.4～ R8.1
	14	パラスポーツ等を通じ障がいへの理解を深める事業	パラスポーツ(障がい者スポーツ)の体験の場を創出するなど、誰もが違いを認め合いながら共に生きることのできる地域づくりを進める。 ・パラスポーツ等体験会の開催 ・パラスポーツの用具貸出	R7.4～ R8.3
15	生活習慣病予防対策推進事業	信州ACEプロジェクトの推進、がん予防の啓発を行い、地域住民の生活習慣病及びがんの予防を推進する。 ・北アルプス地域ACEフォーラムの開催	R7.10	
16	シニアの居場所づくり支援事業	身近な地域で活躍できる居場所づくりの機運を高め、シニアの社会参加を促進する。 ・まちの縁側講座の開催 ・居場所づくり実践に係る情報発信	R7.7～ R8.3	

地域振興局	整理番号	事業名	事業概要	事業期間
北アルプス	17	北アルプス地域魅力発信強化事業	・広報検討チームを設置し、若者・女性に向けた発信力強化のための具体策を検討し、実行する。	R8.2～ R8.3
長野	1	地域防災人材育成推進事業	防災人材育成推進講座による行政職員・地域住民の防災対策知識の向上	R8.2～ R8.3
	2	移住希望者等向け管内魅力情報発信の充実事業	移住者インタビュー、パンフレット充実等による移住の魅力・お役立ち情報発信	R7.4～ R8.3
	3	信州まつもと空港利用振興事業「レンタカー利用促進事業」	空港利用者向け「レンタカーDeぐるっ得パス」による周遊観光促進	R7.4～ R8.3
	4	地域おこし協力隊確保・活動・定着支援事業	隊員の確保、活動支援、定着促進に向けた研修会、交流会の開催	R7.4～ R8.3
	5	首都圏×長野地域 関係人口増加事業	長野地域への移住、雇用創出を促進するため相談会の開催	R7.9～ R7.10
	6	長野地域版2050ゼロカーボン普及啓発事業	イベント出展やキャンペーンによる「2050ゼロカーボン」の情報発信	R7.4～ R8.3
	7	長野地域食品ロス削減推進事業	飲食店が多い長野地域で「食べ残しお持ち帰り」を啓発することによる食品ロス削減	R7.9～ R7.11
	8	体験型観光情報発信事業	インスタグラム等SNSを活用した長野地域の観光の魅力発信	R7.4～ R8.3
	9	長野・北信サイクルツーリズム推進事業	モデルコースのマップ作成、関係機関連携による情報発信等	R7.4～ R8.3
	10	ワインツーリズム推進事業	ワイナリー巡り、SNSによる情報発信等ターゲットに応じたワインツーリズムの推進	R7.7～ R7.9
	11	長野地域産業DX推進事業	中小企業をターゲットとするセミナー及び成果発表会の開催、専門家派遣によるDXの取組推進	R7.7～ R8.3
	12	伝統的工芸品振興事業	「産業フェアin信州2025」ブース出展による伝統的工芸品の価値や魅力の周知	R7.4～ R8.3
	13	プロスポーツチームとの連携・協働による地域活性化事業	AC長野パルセイロとの連携による長野地域の観光・農産物等の魅力発信、スポーツチーム応援の気運醸成	R7.5～ R8.3
	14	ながの果物語り 長野地域産果物魅力発信事業	果物PR冊子デジタル化、宿泊施設での果物の提供等による地域の果物の魅力発信	R7.4～ R8.3
	15	樹園地円滑継承モデル推進事業	マッチングによる果樹園継承をモデル的に推進するための研修会の開催、アンケートの実施等	R7.4～ R8.3
	16	果樹せん定枝の「炭化器兼防霜熱源器」開発実証事業	せん定枝の炭化推進と防霜対策を両立させるための機器の開発及び効果検証	R7.4～ R8.3

地域振興局	整理番号	事業名	事業概要	事業期間
長野	17	働き盛り世代向け健康事業	“ゆるしお”モデル店舗の開発、「ながの果物語り」との連携による情報発信	R7.4～ R8.3
	18	安全・安心な暮らしを支える土木施設見学会	インフラツーリズムによる公共土木施設に対する住民の理解促進、防災意識向上	R7.7～ R7.8
	19	スポーツによるコミュニティ活性化事業	誰もが一緒に運動を楽しむことができる地域づくりに向けたアダプテッドスポーツ等の体験セミナーの開催	R7.6
北信	1	おためしこどもカフェ実施事業	地域の担い手による「こどもの居場所(みんなの居場所)」づくりの推進 ・こどもカフェ運営セミナーの開催 ・おためしこどもカフェの開催	廃止
	2	地元高校生向け「学び」・「起業」支援事業	地元高校生の郷土愛を育み、魅力ある就労のイメージを想起させる機会の提供 ・ワークショップの開催 ・地元で働く方との交流(企業見学等)	R7.10～ R7.10
	3	農業資産魅力発信事業	農業資産の周知を通じ、郷土愛醸成や資産の維持・継承の取組を推進 ・地元高等学校等での農業資産を題材とした出前授業の実施 ・デジタルスタンプラリーによるPR	R7.4～ R7.12
	4	地域おこし協力隊等定着支援事業	隊員活動と地域定着を支援 ・定着支援研修会 ・起業塾の開催 ・協力隊OB・OGによる相談業務	R7.5～ R8.2
	5	移住推進担当者スキルアップ研修事業	管内市町村での生活実態や魅力の発信、取組・課題の共有 ・移住相談員の現地視察 ・管内市町村、移住相談員との情報交換会の開催	R7.12～ R8.2
	6	北信州「酒 ツーリズム」推進事業	北信地域の酒造りを軸とした誘客の促進 ・管内観光関係者を対象とした研修会の開催 ・観光関連事業者向け展示会での情報発信(P)	R7.4～ R7.12
	7	周遊観光のための情報発信事業	集客力のある観光地等から周遊促進 ・そば、酒パンフレットの更新・増刷による情報発信	R7.4～ R8.3
	8	「北信州×越後妻有」雪国が育む食文化等発信事業	新潟県と連携した県境地域の食文化等による誘客や関係人口の創出 ・両県のアンテナショップを活用した首都圏での情報発信	R7.4～ R8.3
	9	広域サイクリング推進事業	信越自然郷の隣接エリアと連携した、サイクリングによる広域観光の推進 ・モデル地域での試行実施 ・イベントへのブース出展による情報発信 ・広域サイクルツーリズム推進に係る会議への参画	R7.4～ R8.3
	10	広域サイクリング推進事業(モデルコース整備事業)	モデルコース整備による誘客促進 ・ジャパンアルプスサイクリングロードの発信 ・利用者のニーズ等のアンケート調査の実施	R7.4～ R8.3
	11	北信州おいしい食材フェア2025	地域食材の認知度向上と消費拡大 ・特産食材を使用したメニューを提供する飲食店等と連携したスタンプラリーの実施 ・小学校・保育園等での地域食材による食育イベントの実施	R7.4～ R8.3

地域振興局	整理番号	事業名	事業概要	事業期間
北信	12	除雪作業の安全対策普及促進事業	除雪作業における事故防止 ・各地域での事故防止対策の情報共有や安全講習会の実施 ・ポスター・リーフレット・動画による啓発	R7.11～ R8.3
	13	雪室利活用プロジェクト事業	地域資源である雪を活用した特産品づくりによる地域活性化 ・イベント出展による雪室・雪室商品の発信	R7.4～ R8.3
	14	JR飯山線利用活性化事業	JR飯山線の利用促進 ・インバウンド等に向けた、リーフレットやデジタルサイネージによる観光情報発信	R7.9～ R8.3
	15	地域資源を活かしたゼロカーボンの推進事業	再生可能エネルギー導入支援や脱炭素社会づくりの機運醸成 ・勉強会や課題解決のための専門家派遣 ・雪国における太陽光発電設備設置の啓発	R7.6～ R8.3
	16	北信州の食を楽しむ事業（ひくシオたすベジ北信州キャンペーン）	北信地域の健康課題を解決するために、地域が一丸となって「減塩」と「地元野菜・果物の摂取」に取り組む ・リーフレット作成、配布 ・イベントでの普及啓発	R7.4～ R8.3